

白熱化しつつあり。

一、本縣下に於ける無産戦線の混乱は殆んど全國一であつて吾黨の外新勞農黨、日本大衆黨、勞農同盟、加之立憲民衆黨、北日本民衆黨の地方無産黨及び無所屬、無所屬無産團體數個を數ふ。

而して新勞農黨は近く華々しく再現せんと準備中に在り、大衆黨は頭のみありて足なき幽霊の如く、勞農同盟は觀念的理論闘争のみに走りて彼等獨特の潜航的運動も少しも奏功せず、地方無産黨は、一二のドコ幹の大量取引の客體たるに止まる。

一、吾黨と他との對立的關係は第一區に於て北日本民衆黨と對立し、第三區に於て大衆黨及立憲民衆黨と抗争的立場に在る。然しながら前記北日本は從來政友會(山本梯二郎)の別動隊たる使命を果し、來るべき總選舉には投票を置食するもの、如し、此の爲めに北日本の黨首玉井潤次第一區より立候補すると云ふ。

第三區に於ては吾黨の刈羽郡支部及び三島郡支部準備會あれども一市六郡の廣大なる選舉なれば總選舉の場合未だ吾黨候補を擁立するの客觀的情

勢備はらず故に凡ての力を擧げて第一區の吾黨候補に應援する事とし、唯此區に於ける大衆黨及び

立憲民衆黨の態度決定を見て、吾黨も之に相當する對策を講ずる筈である。而して大衆黨にては河野蜜立擁護あり、立民は昨年落選せる網島正典を再立する考へらしきも、元來網島及立憲民衆黨は大衆黨より分裂(昨年選舉後)せるものなれば問題にならざる状態に在り、但し最近前記北日本民衆黨と立憲民衆黨との合同計劃ありとの事、果して其の合同成るとすれば、立民の青年中堅は擧つて吾黨に來り投ずるであらう。

以上の状態に依り、本聯合會は飽く迄他事無産黨を克服すべく勇敢なる政治闘争、經濟闘争に邁進してゐる。

長野縣地方

【南信支部】

一、一般情勢

長野縣下には現在南信支部、下伊那支部、中信支部、北安曇支部、東信支部、北佐久支部、北信支

部の七支部を有し最近長野縣下には支那軍總司令部に近く聯合會を擧げる議定であるが其の直後長野支部聯合會を結成すべく準備を進めてゐる。本縣に於ける各政黨勢力は凡そ政友四、民政三、中立一、無産二の割合で、無産黨の進出は特に有望視せられてゐる。

二、日常闘争

一ヶ年間に於て左の諸問題を日常闘争として戦ひ非常なる効果を擧げた。

一、戸數割改廢の警告運動、二、天龍水電會社事業起債に對し漁業組合擁護運動、三、電燈電力料金値下運動、四、荷馬車労働者生活保證の爲内務省令の輪幅三寸説に反對して二寸説主張全國的に運動を展開し五ヶ年延長を聲明、五、自動車賃値下げ運動、六、山林分割問題に本年寄留者の區別撤廢運動、七、地代家賃値下げ闘争、八、小作料減免運動、小作權確立運動

【東信支部】

一、一般情勢

東信支部區域に於ける無産政黨の勢力は政友一、民政一、明正會一の代議士を持つ状態であるが、政友會の反動政策に同黨はすつかり地方民の信用を失した際に於て小川平吉、春日俊文等の收監は断然同黨の勢力を地に落さしめるに至つた、其の反對現象として民政は幾分優勢を保ちつゝ、あり來る改選には二名の代議士を得る見込らしい、無産黨の中では大山一派の勞農黨が最近支部發會式を擧げたが、民衆の支持少なし今後の進展は望まれない。尙大衆黨は全然影さへなし。吾黨は比較的順調に組織も伸張しつつありといへども未だ衆議院に候補を立て戦ふ程の勢力なきことを遺憾とするものであるが、目下機關紙の發行、闘士の養成、宣傳演說會の開催等を不斷に行つて必ずや近き將來に於て吾支部より代議士位は送り得るだけの勢力たらしむることを誓ふ。

二、日常闘争

信濃電力株式會社に對し電力料値下の闘争を開始し遂は月額一燈に付五錢の値下をなさしめて大勝した。その他支部幹部の經營に係る勤勞者診療所も相當な成績を上げてゐる。